



8月13日～15日 第52回単立ペンテコステ大会記念写真(福井県県民ホール)

「聖霊と私」

金沢フィラデルフィヤ教会 宮崎一実

父が牧師であった為に、幼い頃から私は、聖霊の働きの中で育ってきました。集会の度に聖霊の御業がなされ、祈りの時には、異言が語られました。ですから、本来ならば私にとって聖霊は、身近で親しくあるべき存在のはずでした。しかし、聖霊の存在が身近であるほど、ある種の畏怖の思いを抱くようになりました。

そんな私が、中学校2年の春にユースキャンプに参加する機会を与えられ、メッセージの後に、牧師先生が「まだ、聖霊のバプテスマを受けていない人は前に出てきて下さい。受けることができるように共に祈りましょう。」とおっしゃられ、戴きたいような、でも怖いような、ちょっと複雑な思いを抱きつつ、お祈りして戴く事になりました。

今から思えば、その時私は、聖霊について大きな誤解をしていました。聖霊に満たされるということは、人格も、何もかも奪われて、ただロボットのように支配されるようなイメージを持っていたからです。祈りながらも、窮屈そうに、全身に力が入った私の様子を、先生はしっかりと見

ておられ、1人ずつ祈っておられる中で、私の番に来たときに「もっともっと力を抜いて、すべてを明け渡しなさい。」とおっしゃいました。明け渡しなさいという言葉も、私には難しかったのですが、とにかく力を抜くこと、何も考えないでただ下さいと祈ることと解釈し、ひたすら祈りました。すると、何か暖かいものに包まれたような感覚の中、気がつくの意味の解らない言葉のような、音のようなものが口から流れ出て来たのです。不思議な感覚でした。縛られ、支配されるような感覚は全くなく、ただ、ただホワツとした優しく、嬉しい気持ちで満たされたのです。

それから、何十年も経って聖霊は今も私とおられ、その時々色々なことを教えてくださいます。もちろん、聖霊のバプテスマを受けたから、聖霊の働きの全てを自動的に体験するわけではなく、聖霊について学び、交わり、一步一步、信仰的、霊的に成長する必要があります。ただ、一つハッキリと言えることは、今では聖霊無くして生活することが不可能だということです！

「圧倒的な勝利者」 ローマ 8：37

■ 聖会 I

勝利は信仰から来るものです。信仰は何でしょうか。信仰は関係です。(ヘブル 11：3) 関係があるので、信じてすることができます。聖書を読むこと、祈ることは神様とのつながりのためにするべきです。神様とつながればつながるほど奇跡を見るようになっていきます。信仰は知識、経験、信頼から来ます。三位一体の神様はお互いによく知って、信頼があります。神様は関係を大事にしておられる方です。エデンの園でアダムとエバと一緒にいるのが主のみこころでした。しかし、アダムとエバは主より、自分を信頼して禁じられた実を食べて世の中に罪が入りました。それで主との純粋な関係に大きなギャップができてしまいました。このギャップがすべての問題の始まりです。しかし、主の名を呼ぶ者は救われます。これが福音です。イエス様が神様と人とのギャップに橋となってくださって神様との関係を回復することができます。キリスト教の基本に戻ることが一番大切です。イエス様しかありません。本当の勝利を得る信仰です。「救い主が必要です。」と言いましょ。神様との関係はすべてです。圧倒的な勝利者になるには福音がすべてです。信仰は自分が作るものではなく神様からの賜物で、神様との関係から来るものです。

■ 聖会 II

クリスチャンにいつも必要なのは基本のことです。土台さえしっかりすれば立派なクリスチャン生活を続けられます。ペテロのお勧め：(使徒 2：38～39) 悔い改める、洗礼を受ける、聖霊を受ける。皆さんは聖霊のバプテスマを受けましたか。今私たちは聖霊の時代を生きています。聖霊を知れば知る信仰が強くなり、勝利者となります。私たちが聖霊とつながるために詰まっている汚いものを悔い改める必要があります。それで聖霊と交わることができます。圧倒的な勝利者になるためにもっと異言で祈りましょ。聖霊を受けた時に神様のはんこが打たれました。聖霊は助け主です。聖霊は私たちの心をよく見ておられます。いろんな面において聖霊の助けを求めましょ。聖霊は私たちの中から祈っています。人生の中で分からないことがいっぱいありますが、異言で祈る時に聖霊の助けをもっと受けることができます。自分の徳を高めることができます。聖霊のバプテスマを求めてください。神様は与えられます。



聖会講師
スコット・ダウマ師

■ 聖会 III

圧倒的な勝利者になるために一番必要なのは信仰です(ヘブル 10：35～38)。あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。私たちの神様は私たちのために素晴らしい将来を準備しています。主が言われたことをやると主のタイミングに報いが来ます。私たちが落ち込んでいる時でも神様とつながっているなら神様は大丈夫と言ってくださいます。クリスチャンライフは大変なことが多いですが、立派な信仰を持っていれば圧倒的な勝利者になります。イエス様はカナン人の女の信仰を見て彼女をほめられました(マタイ 15：21～28)。イエス様は信仰のあるところに来られます。自分の背景がどうであれ、神様は信仰を見て来られます。カナン人の女は問題ではなく、約束を宣言しました。現実は大変でも真実を取りましょ。人生の中でつまずきが山ほどあります。その時こそあきらめないで信じ続けましょ。

■ 聖会 IV

勝利者は信じる人です。信仰は関係です。日本の中でああなたが希望です(ホセア 2：15)。「アコルの谷を望みの門としよう。」アコルは罪の谷、失敗した罪の谷です。ヨシュア記に出て来るアカンがエリコの奇跡と40年間荒野での奇跡を見たのに不従順で自分の将来をダメにしまいました。アコルの谷に入っているような方がいます。アコルの谷に入るべき私だったのにイエス・キリストが罪を取ってくださいました。これで私たちは希望を持つことができます。ヘブル語で「Hope」と「繩」は同じ言葉です。私の今の現実と神の真実がつながっているのが希望です。希望はみことばから来ます(ローマ 15：4)。希望のひもを感じるために聖霊に満たされる必要があります。私たちは神様とひもがつながっていてキリスト教の基本に戻ると圧倒的な勝利者です。(要約：小山健)

TPKF大会の報告

TPKF大会の教えと祝福

ハレルヤ♪ 第52回単ペン大会が8月13～15日、「圧倒的な勝利者」(ローマ8:37)というテーマで福井アオッサにて持たれました。

本大会において、スコット・ダウマ師のメッセージは実にシンプル、基礎的で、楽しく大切な教えでした。

「私たちの信仰、これこそ世に打ち勝つ勝利です。」(Iヨハネ5:4)

信仰は神様との関係で、これよりも大事なものは無く、三位一体の中に信頼の関係がある。神様と親しい関係を持つようと、私たちは造られたと語られました。そしてペテロの勧め(使徒2:38～39)から①悔い改め②洗礼(私は死んで、よみがえった)③聖霊を受ける(賜物)、この土台をおろそかにしてはいけないことが語られました。また異言で祈ることの重要性を繰り返されました。聖会ごとに異言で祈り、多くの方々が聖霊の満たしを受け、喜び、癒され、満たされました。

最後の聖会で①聖霊と異言の祝福②神様との関係につ

いて確認し、更に「私たちのうちにある希望を分かち合う(Iペテロ3:15)」「この希望が、私たちのたましいのために安全で確かな錨の役を果たす(ヘブル6:19)」と語られ、いつのまにか少しづつ流されていないか?毎日、神様につながり忠実に歩もうと勧められました。

中日は、ナイト de ライトのライブを老若男女が楽しみ、彼らの生きた証しと歌詞に恵まれました。

ユースでは田中満矢師から「主の声を聞いて悟れ(ノアの箱舟)」「5秒に1人(5つのパンと2匹の魚)」のメッセージがなされ、多くのユースが招きに応じて涙して祈りました。

Kidsでも山本義武師から「信仰、祈り、みことば、賛美で勝利」とメッセージがなされ、子どもたちは楽しみつつ、御言葉を暗唱しました。

大会後も、教会に続けて祝福が流れています。神様に全ての栄光をおささげします。

(敦賀自由キリスト教会 札場みどり)

TPKF大会の証し

単立ペンテコステ大会に参加して

岐阜純福音教会 益田 明



単立ペンテコステ大会に、私は、初日と2日目の午後まで参加し、そよ風のように流れる聖霊のお働きを感じるひとときを過ごすことができました。スコット・ダウマ先生によるメッセージ、ナイト de ライトによるライブを通して多くの励ましを受け、また他教会のみなさまとの交わりの中で、心身ともにリフレッシュすることができました。

ダウマ先生は、「Reboot」(再起動という意味)というキーワードを強調され、私たちがクリスチャン生活を送る中で、「原点に戻る」(再起動する)ことの大切さを語られました。

私にとって、先生のメッセージを通して教えられた原点は、「十字架による救い」と「聖霊の満たし」という二点でした。そしてそれは、私自身がそのときに抱えていた問いや迷いに対する答えのようなメッセージでとても励まされました。

自分自身が本当に大切にすべき事柄が何なのかということをお教えられたひとときでした。

TPKF大会の証

町田純福音教会 近藤三重子



テーマは「Victory」。スコット・ダウマ師を小山大三師が「コカコーラの社長は私の体にはコーラが流れていると言ったそうですが、ダウマ師の体にはどこを切っても福音と聖霊が流れ出る方」と紹介された通り、「圧倒的な勝利者の秘訣」を御霊にあふれて上手な日本語で語られました。

私の心に止まったことは、信仰は神との生ける関係が一番大事ということでした。異言の祈りはクリスチャンの特権、毎日、もっと十字架に感動してからスタートしましょうと語られました。ダウマ師は、毎日手を挙げて2分以上異言で祈るとのこと、異言は脳全体を動かしオキシドン噴出だそうで、脳に不安を覚える歳の私は、即要実行と励まされ実行しています。それから、ツロの女の信仰のところでは、子犬でもパンくずはもらえますと退かないで願い続けた女に「あなたの信仰は立派です」とイエス様が言われた言葉に、異邦の信仰ある女のところに来られた方は、日本にも来てくださると励まされました。

TPKF大会の証し

「心を尽くして主に抛り頼め」

綾部キリスト福音教会 塩尻千央



「心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りにたよるな。」(箴言3:5)

私は日々の予定や出来事だけでなく、信仰でさえも自分の努力で良いものにしようとしていました。でも私はとても小さく無力で、何もでき

ないものでした。そんな私に主は、それでも私はあなたを愛している、何をするにもどこに行くにも私に聞けと言ってくれました。そして、Ⅱコリ 5:15のように、そんなとても大きい愛に気づかされたのに自分の人生を自分のためだけに生きていくのはもうできないと感じました。

私は今大学4年生で、将来の道に迷っています。就職活動の中で、自分のしたい仕事は何なのか、どう生きていきたいのかが分からなくなり悩みました。でも今は単ペン大会を経て、イエス様にすべてを捧げ、将来を委ねていくことの素晴らしさ・心地よさを与えられました。すぐに倒れそうになる私ですが、主が成してくださることを待ち望みます。ハレルヤ、主に栄光をお返しします。

単ペンユース集会の証し

鶴見純福音教会 上迫みどり



ハレルヤ！ 主の御名をあがめます。今年もTPKF大会に参加でき、神様から多くの恵みをいただいたことを心から感謝します。ユース集会のメッセージの中で、私は特に神様と私との間に生きた“関係”

が築けているか、という問いが胸に迫り、また神様の前に自分を差し出す姿勢に対してチャレンジを受けました。神様が求めておられるのは、“できる”器ではなく“ささげる”器。メッセージ後の祈りの時間は、フルタイムでの献身に重荷がある者、ビジネスの中で主に仕える志がある者、共に主の前に出て豊かに聖霊様に触れられる時となりました。また、ナイト de ライトのライブでは、素晴らしい演奏とともに歌詞の一つ一つが心に響き、神様の大きく温かな愛が心に広がっていきました。そして同世代の友との交わりには、大きな励ましと喜びをもらうことができました。これからも主ご自身を求め、自分を捧げつつ歩んでいきたいです。主に栄光がありますように。

単ペンユース集会の証し

小松ベタニヤ福音教会 田中ひかり



今回の単ペン大会は、地元北陸での開催ということで、1年前くらいから楽しみにし、期待して今回の大会に参加しました。そして、主はその期待以上の祝福を与えてくださいました。

私は前まで、ずっと悩んでいたことがあって、何回も祈ったけど、解決されませんでした。けど、大会2日目のユースメッセージで、「主は、自分の罪でいっぱい心の真ん中に立ち、真っ白くキレイに変えてくださる。」ということを感じ、そのあとの祈りの時に、その悩んでいたことを祈りました。その祈りの中で、私は今まで一生懸命に祈っていたつもりだったけど、疑うようなところや、半分あきらめていたところがあることに気が付かされて、全てをゆだねて、曖昧ではなくちゃんと全てを打ち明けよう、と思い祈りました。そして、大会後も今もその悩みから解放されています！

今回、霊的にも肉的にも楽しい三日間でした。感謝します！！

ナイト de ライト ライブレポート

『にもかかわらず』の愛

——なにより きみはかけがえのない人だよ いつでも新たな道は踏み出せる 待ってる 帰ろう——

ナイト de ライトの「家」という曲の一節です。この曲のみならず、彼らが今回ライブで披露したすべての曲の根底に流れていたのは、紛れもなく、神の無条件の愛でした。

ただ聴くだけでは讚美歌なのかラブソングなのかかわからない曲も、スクリーンに映し出された歌詞を目で追っていけば、人には決して表せない、永遠に変わることも尽きることもない愛を歌っていることに気がきます。いわゆる、「もし」、「だから」の愛ではなく、「にもかかわらず」の愛です。まさにその愛が会場全体を包み、一人ひとりが神を見上げ、礼拝するひとときとなりました。その時間を通して、神の愛は私たちに生きる意味と力を与えることを改めて実感し、日本中、世界中の人々にその愛を届ける者になりたいと強く願わされました。

「愛は決して絶えることはありません。」(Ⅰコリント 13:8)

(西川牧雄)

TPKF 全国各地の情報・報告

〈イースト〉 イーストフェローシップディ



シルバーウィークの9月21～22日、葉山にある湘南国際村センターにて、イーストフェローシップディを一泊二日で持ちました。例年は一日だけのフェローシップディですが、今年は連休を利用して初めて泊まりで持ちました。キッズから大人まで約100名が参加、すべての年代が交わりを深め、ともに主の祝福に預かる時。分科会、年代別交わりの時、キッズ集会、そして2回の聖会と盛りだくさんの恵みの時でした。聖会は講師に東京ライトハウスチャーチ主任牧師の八東選也(やつづかえりや)先生をお迎えして「家族の祝福」というテーマの基に創世記12章よりメッセージをいただき、恵みと聖霊の働きの中で多くの参加者が、主に触れられ、語られ、すばらしい時となりました。

(横須賀クリスチャンセンター 芳三容子)

〈FCMF〉 森祐理コンサートがもたれました。

福井自由キリスト教会

秋晴れの爽やかな天候に恵まれた10月4日(日)午後から、創立六十周年を記念して、福音歌手森祐理さんを招いてのコンサートが当教会でもたれました。昨年十二月の福井市民クリスマスコンサートに続いての賛美ゲストでしたが、今回も新しい方々が多く参加してくださいました。

一般ホールと違って、教会に足を運んでくださることは、私たちにとって大きな感謝なことです。祐理さん自身が、二十年前の阪神淡路大震災で弟さんを亡くされて二十年。今なお涙ぐみながらも復活と天国の希望を分かち合ってくださいました。従来美しい歌唱力に加えて、祐理さんも何より人の魂の救いを願う、主にある情熱を強く感じさせられました。

私が数年祈ってきたある方も、癌の病と闘いつつ、涙を流してこれからも息子さん夫婦と一緒に教会に来られる決心をくださいました。このコンサートが、魂の収穫にまでつながることを祈られます。「御国を来たらせ給え！」アーメン。

(川瀬清文)

〈キリスト福音〉「うれしい悲鳴」小浜キリスト福音教会



小浜キリスト福音教会では、7月22日から24日まで2泊3日のバイブルキャンプを開催しました。講師は、シニビルタ・タネリ&梨絵先生を迎えました。参加申し込みが子どもだけで46名になったので思わず、「えー、どうしましょう。」

受け入れ準備は30名位だったので、「教室は？宿泊の場所やふとんは？プールやお楽しみにツアーの送迎は？」と今まで通りにはいきません。スタッフ一同、一晩考えて祈りました。子どもが多いので自家用車だけでの送迎は無理なので、初めてバスをチャーターしました。

子どもたちはバスが大好きでした。そして、しっかりと福音を聞いて仲良く楽しく過ごしていました。主の祝福を感謝します。突然のリバイバルの時に備えて目を覚まして祈って心の用意をしましょう。(大宅昭子)

関西聖書学院

「これは面白い。やりがいがある。」インドネシアに遣わされて数年目、40の年を迎えたころ、神学校での働きにこの上ない喜びを覚えたものでした。次世代の献身者の才能が開かれていく、その触媒となる喜びでした。それは今も変わりなく続いています。KBIでは働き人となるための基本的な聖書と神学の学びを土台にして、全寮制ならではの全人的訓練に心砕いています。学生の賜物が開発され成長していく、ビジョンが育っていく、仲間同士が切磋琢磨していく、そんな環境を提供しつづけたいと願ひ奉仕しています。大田が着任して16年目、ボルヨソン先生に勝山から来ていただいて7年目です。主にある調和で奉仕してきましたが、なおも人を育てることの難しさを以前よりもズシリと感じるようになってきました。①主からの明確な召命 ②訓練に応える覚悟 ③仲間やスタッフと交わる開かれた心が大切です。次年度の入学生も受け付け始めています。

(学院長 大田裕作)

9月1～2日犬山ユースホステルを会場に第68回TPKF代表者会議が開かれました。その時の会議内容を抜粋して報告いたします。

1. 第52回TPKF大会(福井市)は子供を含めて400名の参加者があった。ユースやキッズのプログラムでユースや若い夫婦の参加が増えた。ナイト・デ・ライトのコンサートは会場がほぼ満席状態だった。今後の要望としては会場、食事、宿泊セットにして欲しい。
2. 第53回TPKF大会がイースト担当で、横浜研修センターで開催される。テーマは使徒の働き2:1より祈りの一致を考え、タイトル「つながり」「ONE」「和」等を考えている。分科会を増やし、知らない人とも話せる交わりを中心とした大会、関東の教会紹介、ユースへの参加費援助を考慮中。講師はTPKF三役。年内早めにポスター、チラシを配布する予定である。その他の大会詳細はイーストに一任。

3. NeGワーカーズの担当者はキリスト福音:上田勇矢師、FCMF:川内悟師、イースト:北村聖慈師となり、活動必要経費はTPKF会計でできるだけ援助することが決まった。
4. TPKF会計を岡部光雄先生が長い間担当して下さったが、2016年1月より稲葉基夫先生になる。とりあえず3年間とし、誰でも引き継げるようなシステム作りが課題となっている。長い間会計担当して下さった岡部光雄師に感謝。
5. ペンテコステ誌の配布無料化が取り上げられたが、もうしばらく現状維持をすることになった。
6. TPKF諸職者の総会が必要ではないか、との提案があり、今後のTPKF大会の事務集会がそのような役割を果たせないかとの意見があった。

次回代表者会議は2016年3月1日～2日犬山ユースホステル。担当はイースト。 TPKF議長 中見 透

■人事

□須磨自由キリスト教会

平川久師が牧師に就任

□ブンキョー・ゴスペルセンター 短期宣教師

①ハンダヤント師(インドネシア)2015年12月末まで

②オーロラ・ミュレ師(ノルウェー)2016年2月15日～4月15日

□ペンテコステ誌編集員

2015年119号より上田勇矢師から西川牧雄師に交代

□Fida 新宣教師 エミリア・ハッキネン師2016年秋以降来日予定

■教会名称変更

ひらかたキリスト福音教会ミラクルチャーチ→大阪キリスト福音教会

■超教派情報

JPC ▶ 研修会「女性のためのミニストリー」2016年5月26日 講師:西川洋子師(オープンバイブル墨田聖書教会)、石倉のり子師(日本アグロー) / ペンテコステ世界大会 2016年9月7日～10日ブラジル・サンパウロ / PAMツアー 2016年2月18～25日タイで開催(吉田隆師担当)

NRA ▶ エンパワード21イギリス大会ツアー2016年5月 / 「日本宣教フェスタ」大阪国際会議場2017年5月5～7日

■第53回TPKF全国大会

2016年5月3日～5日 横浜研修センター(横浜市金沢区福浦、横浜シーサイドライン・産業振興センター駅前)、テーマ:使徒の働き2章1節、「和」、講師:TPKF三役、費用:一般20,000円(登録費3,000円含む)、ユース、キッズ割引有り

facebook「単立ペンテコステ大会」をフォローしてください。

単立ペンテコステ教会諸教会(名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会 / 横浜フィラデルフィヤ教会
磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル
大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会
富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
富士純福音キリスト教会グレースチャーチ / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / 三国自由キリスト教会 / 敦賀自由キリスト教会
武生自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレースチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ / 岐阜ライフチャーチ
美濃グレースチャーチ / 岐阜中央チャペル / 本地ガ原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会
京都キリスト福音教会 / 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会
大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

